

八王子明星父母会会報

Hachioji Meisei Fubokai Kaiho

2007 September ●●●●●●●● vol.2



八王子明星父母会 会長
内山光洋

学苑生活をより充実に・・・

第十代 八王子明星父母会 会長/明星学苑 監事
木住野暢大

八王子明星父母会の意味するもの

中学・高等学校 校長
北原都美子

八王子明星父母会で

小学校校長
望月克彦

八王子明星ファミリーⅡ

分科会内容

総会・懇親会



学苑生活をより充実に：

今年も十九年度の八王子明星父母会が無事七月七日に皆様のご協力により開催することができました。親のだけれども、子どもの教育・通学時の安全、また何よりも充実した楽しい学苑生活を送ってほしいと願っております。

日頃の学校との関わり合いだけでは伝え切れない多くの思いをこの八王子明星父母会では先生方に聞いて頂ける場でもあります。

小・中・高それぞれの分科会に毎年先生方がご参加下さり、多くの保護者の声を聞いて頂いております。子どもたちの学苑生活をより充実した素晴らしいものにするためにも、この情報交換の場に、より多くの八王子市在住の保護者がお集まり下さいますことを切に願っております。

今後ともご支援、ご協力を頂きますよう、よろしく申し上げます。



八王子明星父母会の意味するもの

八王子明星父母会は昭和三十三年に結成され、歴代役員の皆様方の並々ならぬご努力により受継がれ、今日に至っております。この間、存続が危ぶまれるような時期もありましたが、この火を消してはいけないと言う、熱意や情熱に支えられ、継承されてきたのです。この会の開催にあたって、学校からの支援や要請は一切ありません。保護者の皆様方の、まったくの自由意思とボランティアにより成り立っております。

私たちは、わが子を偶然に明星学苑に預けたわけではありません。学苑が掲げる教育理念に共鳴し、三綱領にある健康であり真面目であり努力する、そして世界に信頼され、地域社会でも信頼される、そんな人間に育ってほしいと願って託したのです。その成果をより確実なものにするには、学校教育と家庭での教育のベクトルが同じでなくてはなりません。そうしませんと子どもは混乱してしまいます。それぞれ教育する環境や、仕方は違っていても、常に車の両輪のごとく先生と家庭、家庭と学校とが密に連絡を取り合い、同じ歩調で同じ方向に向かって教育していくことが大事なのです。

しかし、残念ながら学校で定められた懇談会や個人面談の開催だけでは十分とはいえません。一人何分間、次の面談者が待っているような状況で、満足のお話が出来ないわけがありません。保護者は子どもの学校での勉強や活動の様子、進学のこと、もっと沢山の事を知りたいのです。そして、家庭での生活面での事について話したいのです。真に行き届いた教育を施すには、お互いがこうした情報を共有し合うことが大切なのではないでしょうか。そうした意味からもこの会の存在意義は大きいのです。

学校側のご理解とご協力をいただき、この会が末永く存続してほしいと願います。

八王子明星父母会で



府中の地に明星学苑が創立して八十四年、来年度は八十五周年を迎えます。学苑の門をくぐると緑が多く、この豊かな自然が人の心に優しさや落ち着きをもたらしてくれているのだと思います。どうかこの環境をいつまでも保つて欲しいと願うばかりです。

昨今、地域の教育力が叫ばれています。このように八王子から通学している生徒の保護者の方々が学校と協力し、今後社会を担う子ども達の育成を真剣に考える場があることを嬉しく思います。

今年度も八王子明星父母会にお招きいただき、いろいろなお話をうかがうことができました。その場でいただいたご意見などは真摯に受け止め、学校でも教職員に発表し、検討していきたいと考えています。

昨年と同様に部活動の終了時刻のことが話題になりました。成長期の生徒達の健康状態を心配なさるのは当然なことと思います。学校もこの件については頭を痛めております。早く帰宅するように促しても友達といえることが楽しいようです。学校の中の設備・環境のよさがさらに拍車をかけているのかも知れません。職員会議などで部活動の終了時刻等を皆で考えていきたいと思っております。また、帰宅後の学習時間の確保や教科担当者の授業についてもお話が出ました。現在、各教科主任を中心にシラバスなどの見直しと同時に授業研究もしております。進路指導では、生徒達の夢や目標が達成できるよう各学年での取り組みを検討しています。学校では建学の精神を大切に、各部長や教科主任を中心に男女参画時代に相応しい生徒指導・教科指導等の見直しに力を注いでいます。

これからもご協力いただき、学校ですべきこと、家庭ですべきこと、ご支援いただかなければならないことをお互いに話し合っていきたいと思っております。

八王子明星ファミリーⅡ



「私の弟の子どももお世話になつていらっしゃるんですよ」「妹の子どもがお世話になってます」「三代に渡つて明星ファミリーなんですよ」これが、八王子明星父母会です。

明星小学校に通学している八王子在住児童数を十年以上遡つて調べてみました。七〇人〜八〇人の年もありましたが、平均すると六十二人程です。因みに今年度は六〇人でした。府中・国分寺に次いで在籍数の多い市です。

本会は、低・中・高学年の保護者の方が一堂に会して懇談のできる唯一の会合です。日常の懇談会は、学級か学年で行い、縦割りではありません。低学年の方の発言内容に対しても経験ある中・高学年の方々の発言内容が大変参考になる会です。

この分科会だけでも懇親会の役割をになっています。明星小学校を今以上にもつと良くしようという前向きで、協力的な発言をしていただき感謝に堪えません。新聞やテレビでは「理不尽な親」のことが毎日のように取り上げられています。八王子明星父母会・明星小学校の保護者は別格です。

「下のこどもも今年受験しますのでよろしくお願いします」と何人もの保護者から挨拶されました。

このような有り難いお言葉をいただくたびに、明星小学校の教員全員の顔と言動が頭をよぎります。

教員には、明星小学校の教師としてのあるべき姿を訴えたり、自覚を促したりしてはいますが、まだまだ私を含め修業が足りないなと感じます。保護者の皆様方に少しでも満足していただけるよう今後も精進いたしますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

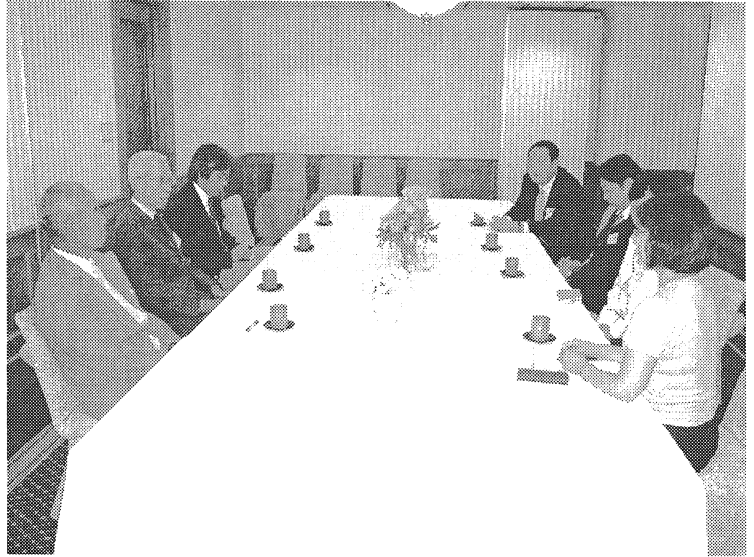
分科会

高校

佐藤教頭・片山校長補佐・長澤先生・保護者5名

今年は佐藤教頭先生が初めて明星父母会にご出席され、少人数ではあったものの時間いっぱいまで話し合いが行われました。

まず、内申書の事が上がりました。推薦入学を考えている方は当然重要なわけで、目指す大学によっては、英検なり数学検定、漢字検定を取得しておくことがプラスになります、とのお話を頂きました。文系か理系の選択にも非常に悩む保護者の方がおられ、子どもが将来何をやりたいかということが根底にあり、それに沿って選択しても良いのではないかとということでした。得意不得意がありますから、内申書が下がらない方を選択するのも一つの方法なのではないかという意見もありました。また、高校3年ともなると受験勉強に専念してもらいたい親の気持ちと、まだ部活動を頑張っている子どもとで、心配でならない、という意見が上がりましたが、やはりこれは本人の気持ちがしっかりしていればとのことでした。



分科会の様子

次に、他校の生徒が学苑内に入ってきた、ということでした。大問題にはならなかったものの、何がきっかけで、とんでもない事件になるか分からない世の中なので、学校としても、他校生はもちろん、不審者進入の防止強化を図ります、とお話頂きました。

また、授業の一つであるプールについて、男女別々にしてもらいたい、年頃の子どもの繊細な気持ちをもう少し考えて欲しいとのことでした。これは学校側からすれば、施設を新しくしている関係上、急きょ、やむを得ず合同になっただけで、男女別にする方向でいます、とのことでした。

分科会の終盤では、生活面で乱れている生徒には、学校側も毅然たる態度で注意してもらいたい、ということでした。これは親の躰は当然のこと、子どもをとりまく環境、先生方、全てが一体となって育成に関わっていかないと向上していかないということで、この明星会を通じて、保護者、先生方が自分の子どものために、明星に通ってる生徒のために、居心地の良い学校、居心地の良い世の中にしていきましょう、ということでした。



左から、長澤先生、片山校長補佐、佐藤教頭



分科会

中学校

北原校長・小宮山副校長・高林教頭・保護者8名

冒頭、先生方からこの分科会で話された内容は全て学校に持ち帰り報告する、と言うお言葉を頂きました。



左から、高林教頭、小宮山副校長、北原校長

Q クラブ活動を終え、帰宅時間が極めて遅い!! (夜8時過ぎる)

A 新校舎になり学校で快適に過ごせる事が要因かもしれない…例えば、校内及びカフェテリア等の電気がセンサーにより自動で明かりがつく為、帰宅せず遅くまで校内で雑談やお茶を飲んでいるのが現状かと思われる。昨年も同じ様な話が上がり見回りをしたが、さらに今回も帰宅を促し見回りを強化する。また、体育館が工事中の為、クラブ活動をする際わざわざ教室まで着替えを置きに行かなくてはならず、その時間が帰宅を遅らせているのも一つの要因では、というお話で、秋には体育館も完成するので、それまでは時間が掛かるかもしれないが辛抱して頂きたい。

Q 各クラスで授業の進み具合が違う…?

A 基本的には同じスピードで授業を行っている。しかし、ハッピーマンデー制度（日本において国民の祝日の一部を従来の日付から特定の月曜日に移動させる制度を指す。）導入により月曜日に行う教科が遅れる傾向にあり、その影響により各クラスの進み具合が変わってきている。対策として学期ごとに時間割の曜日を入れ替える工夫をしていく。

Q 小テストを行う日程を学校側からメールで知らせて頂ければ…

A 電話番号とは違い、電子メールのアドレスは容易に変更でき、また学校側に変更した事をお知らせしてくれない為、一年もたたない内に機能しなくなる。代替案として、週に決めた日に小テストを行う様になれば問題は無くなると思う。

Q 中・高のクラブ活動の一体化の流れがある様だが…

A クラブごとに活動性質が違うので一概には言えない。クラブ顧問に任せている。

最後に、小宮山副校長より、家庭学習の大切さと、子どもと将来について、話し合ってもらいたい。早くから将来の目標に向かって進んでいる子どもは、学習意欲が違うように思われます。と締めくくりのお言葉を頂きました。

分科会

小学校

望月校長・菅野教頭・古賀先生・保護者15名

携帯電話について…

望月校長より文部科学省からの保護者に向けた注意喚起のリーフレットを頂き、そこから子どもたちの携帯電話の使用についての話し合いが行われました。現在、全生徒708名中、携帯電話持込の届出が318台との事ですが、実態は無届での使用も多いのではないかとの見解です。

悪質な勧誘やチェーンメール等、携帯電話使用におけるデメリットや危険性がある一方で、デジタル化社会への対応といった現実的に使用が避けられない、また保護者にとっても大変便利に利用できる等、便利さと危険性との二面性を持ち合わせている事を理解された事と思います。また、キッズ携帯の多機能化や多機種に及ぶ事から、学校サイドで管理・規制を強くしていく事は困難な状況であると思われます。そういった中で、子どもたちに携帯電話使用について指導していくには、学校側からのモラル指導と同時に各家庭での自主ルール作りや電話機設定等による自主規制を行う必要があります。ただ規制を厳しくしていくのではなく学校と家庭が協力し合い、子どもたちに携帯電話使用における社会性を身に付けさせる必要があるとの共通認識を改めて確認いたしました。



菅野教頭(左)、望月校長(中)、古賀先生(右)

家庭におけるお手伝い…

望月校長より、家庭におけるお手伝いについて、お話を頂きました。お手伝いというと、『新聞取ってきて』のように行動を指示する様なことが多くなってしまっていますが、是非、子どもたちに達成感や目的意識を持たせるようなお手伝いを心がけては如何でしょうか。漠然と言われる事をするよりも、子どもたちにとって身になるお手伝いになると思います。

分科会とは…

八王子明星父母会の「分科会」は、学校の先生方（校長先生・副校長先生・教頭先生、および八王子担当の先生）と、保護者の方が、意見交換する場であります。小学校・中学校・高等学校と、それぞれ各部屋に分かれ、学校での子どもたちの様子、学習面での不安な点、クラブ活動、進路問題等、ありとあらゆる事をお話出来る場です。常日頃から、学校に対して思っている事、また学校側から保護者に対しての要望など、色々な事が話し合われます。一年を通して先生方と触れ合う機会はずいぶん多いと思います。それを実現しているのが、この八王子明星父母会の「分科会」です。

平成19年度総会承認議案

- 平成18年度事業報告
- 平成18年度会計報告
- 役員を選出・承認
- 平成19年度事業計画及び予算

八王子明星父母会年間行事

- 委員会の招集（5月・6月・7月）
- 八王子明星父母会開催（7月）
 - 総会・分科会・懇親会
- 会報誌編集会議（8月・9月）
- 会報誌発行（9月）
- 卒業生への記念品贈呈（3月）



千葉委員の議長で執り行われた総会

総

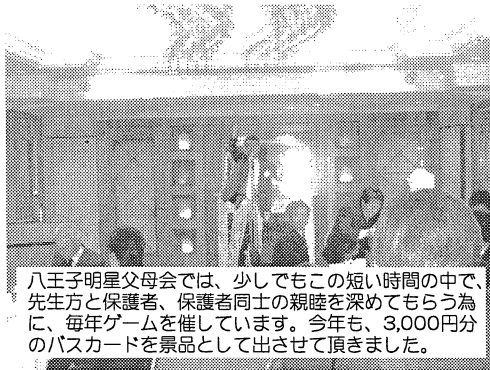
会



懇

親

会

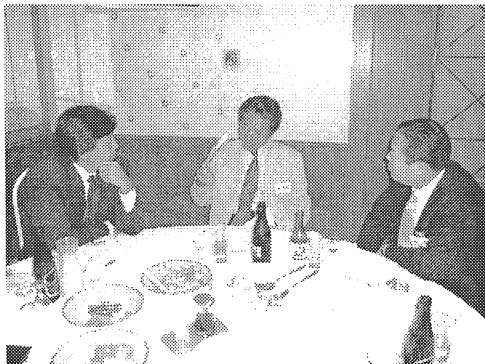


八王子明星父母会では、少しでもこの短い時間の中で、先生方と保護者、保護者同士の親睦を深めてもらう為に、毎年ゲームを催しています。今年も、3,000円分のパスカードを景品として出させて頂きました。

木下委員によるジャンケンゲーム



北原校長先生



内山会長(左)、木住野元会長(中)、半澤元会長(右)



望月校長先生

この懇親会の中でも、分科会でお話出来なかつた事や、保護者同士のお話などが活発に行われます。